



海田西小学校
通級指導教室だより No.14
令和4年11月2日(水)

認知機能強化トレーニング『コグトレ』オンライン

今年度から海田町では、通級指導を受けている児童のタブレットに、認知機能強化トレーニング『コグトレ』(Cognitive Enhancement Training)を入れています。

これは、ご存知の方も多いかと思いますが、「境界知能とグレーゾーンの子どもたち」「ケーキの切れない非行少年たち」の著者 宮口幸治先生(児童精神科医)が東京書籍と共に開発されたものです。

かがやき教室では、以前から『コグトレ』をトレーニングに組み込んで学習してきましたが、今年度からはオンラインも毎回活用しています。



先日、宮口先生の研修会で、知的障害や発達障害の診断がついていない境界性精神遅滞(かつては知的障害と認定されていた IQ70~85)の子ども達を取りこぼされているという話を聞きました。

その子達には、下記のような特徴があるそうです。

【困っている子どもの特徴】

① 認知機能の弱さ(見る力・聞く力・見えないものを想像する力が弱い。)

→指示通りに動くのが苦手。

見落としが多い。

被害者的に捉えることがある。

目標が定められず、努力するのが難しい。



② 感情統制の弱さ(自分の心の中で何が起きているのか分からない。)

→感情の言語化が苦手。

カッとなるとすぐに手が出る。

ストレスを一人で抱え込む。



③ 融通の利かなさ(より多くの選択肢がもてず、問題解決力が弱い。)

→何も考えずに思いつきでやっているように見える。

予想外のことに弱い。

一つのことを考えると、周りが見えなくなる。

④ 不適切な自己認知（自分を正しく評価できない。）

→自分の良いところ・問題点が分からない。
他の人からどう思われているか分からない。
どんな人になりたいかイメージがわからない。



⑤ 対人スキルの乏しさ（適切な対人認知ができない。会話についていけない。）

→流されやすい。
冗談が通じにくい。
悪いことに利用されやすい。

⑥ 不器用さ（自分の体の動きが予測できない。）

→手先が不器用。
運動が苦手。
物をよく壊す。
力加減が苦手。



かがやき教室では、支援が必要な子ども達を取りこぼさないために、また困っていることを少しでも改善するための一つの手段として、コグトレを取り入れています。

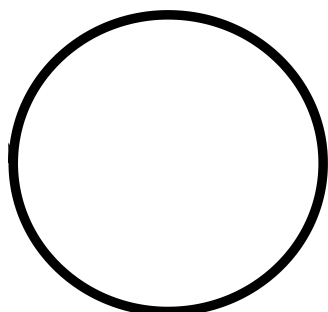
自宅にタブレットを持ち帰った際には、ぜひご覧になって、お子さんと一緒に体験してみてください。（大人でも楽しんでできる内容になっています。）

さて、かがやき教室では、次のような問題を作成し、通級指導を受けている児童全員に実施中です。珍解答続出ですが、それは、次回号でお知らせします。今後、コグトレ等のトレーニングを通して、3学期末にはこれらの実態がどのように変化しているのか楽しみです。



どうすればいいかな？

①ピザを3人に同じように分けるには、
どうしたらいいかな？



② 5つのスイカを、4人に同じように分けるには、
どうしたらいいかな？

